これまでの活動（8月～10月）

8月　地域おこし協力隊の活動報告会で受付

9月　笠間市民体育館で開催した茨城県子ども会ドッジボール大会

9月　地球を守ろう！　谷口たかひさ講演会inかさま

9月　友部高校で来年４月に開校するIT未来高校の説明を受ける

9月　建設土木委員会水道・下水道施設視察

9月　小原の森で皮むき間伐を体験

9月　議会一般質問

9月　道路里親事業　暑いので朝早めに作業開始

9月　県内一斉ロータリークラブ環境保全プロジェクト

9月　笠間義士会の有志による泉岳寺周辺施設視察

9月　笠間ふれあい旅行　浦安市高洲中学校の生徒受入れ

9月　第19回常陽水墨会作品展で河原井さん、額賀さんと

10月　鴻巣地区で決起集会を開催

10月　えだまめパーティ！盛会に開催

10月　ともべ幼稚園さつま芋堀り（無肥料・無農薬の芋づくり）

10月　ふるさとまつりinかさま　SDGsクイズで綿菓子づくり

内桶克之（うちおけかつゆき）プロフィール

生年月日	昭和３５年（１９６０年）１０月１日生まれ（６２歳）
学　歴	法政大学大学院修了（政策学修士）、日本大学農獣医学部卒業
	※勤労学生：朝３時に起床し、新聞・雑誌を私鉄の駅の売店に運ぶ
現　在	笠間市議会建設土木委員長、議会運営委員会副委員長、広報委員
	友部ロータリークラブプログラム委員会委員長
	ともべ幼稚園理事、NPO法人グラウンドワーク笠間顧問
	NPO法人ららら音楽アトリエ理事
	日本ゴルフツアー選手権森ビルカップ大会役員
	笠間市ドッジボール協会理事長、茨城県ドッジボール協会顧問
趣　味	ラジオ体操、スポーツ観戦、笠間焼を使おう贈ろう運動
信　条	「他人と過去は変えられないが自分と未来は変えられる」

YouTubeで動画配信

内桶克之
オフィシャルHP

内桶克之
決意の言葉

HP http://uchioke.com　　katsuyuki.uchioke　　okeok19601001

市民とともに、地域とともに　vol.17

ともに歩む

令和４年１１月発行
発　行：内桶克之
連絡先：〒309-1706
笠間市鴻巣 593
Tel :0296-77-2524
Mob:090-1811-0098
Fax :0296-77-2524

皆さん、こんにちは、内桶克之です。

日頃から応援をいただき、ありがとうございます。

新型コロナ感染症については、第７波がほぼ収束しつつある中、行動制限のない秋を迎え、経済活動の再開・活性化に向けた動きが広がりつつあります。笠間市では「新栗まつり」や「笠間浪漫」、さらには「ふるさとまつりinかさま」などが盛会に開催されたところです。現在開催中の「笠間の菊まつり」にも多くの観光客が訪れています。

さて、令和４年度半年が過ぎました。９月に開催した第３回議会定例会では「笠間市議会基本条例」を全会一致で可決しました。定例会では追加議案として一部の議員から、この議会基本条例に基づかない形で議員定数の改正の議案が提出されましたが、反対討論を行い賛成少数で否決されました。今後この議会基本条例に基づき、議会運営、議会改革、そして議員定数についてもしっかり議論をしたいと思います。

皆さんの地域や身の回りでご相談事がありましたら、ご相談ください。調査をしたうえで、今後どのようにすればよいかなどをお答えさせていただきます。

10月２日に友部公民館で開催した笠間市議会会派「かさま未来」報告会。坂本議員、安見議員と

令和４年第３回議会定例会が８月３０日から９月１６日までの１８日間で開催され、請願１件、陳情１件、委員会提出議案２件、報告１件、認定５件、諮問３件、議案１３件、議員提出議案１件を審議しました。以下が審議の主な結果です。

請願は「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願」で、全会一致で採択。委員会提出議案は「笠間市議会基本条例」を制定するもので全会一致で可決。報告は新型感染症対応の一般会計補正予算の専決処分を賛成多数で承認。認定は令和３年度の各会計決算認定で、いずれも原案どおり認定。諮問は「人権擁護委員候補の推薦に意見を求める」もので原案どおり同意。議案は「笠間市職員の育児手当等に関する条例の一部改正」、同じく「特殊勤務手当に関する条例の一部改正」、「笠間市議会議員・笠間市長の選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正」、「笠間市税条例の一部改正」の４つの条例改正は全会一致で可決。一般会計補正予算は賛成多数、特別会計及び企業会計の８会計の補正予算は全会一致で可決。また、２議員から提出された「笠間市議会議員定数条例の一部を改正する条例」は賛成少数で否決されました。

一般質問は、下記の項目を質問しました。

❶ 笠間市と企業等の連携について

笠間市は様々な分野において企業等との包括連携や連携協力などの協定を締結して事業を進めています。連携協定の締結状況、事業状況、さらに見直し等の必要性について質問しました。

❷ 学校跡地利活用事業の状況について

笠間市では学校跡地利活用事業を積極的に進めています。学校跡地の利活用は、地域振興やコミュニティ形成等の観点から重要であり、さらに笠間市の活性化に寄与する有効な事業となります。そこで現在までの学校跡地の利活用の状況について質問しました。

❸ 一般廃棄物の処理について

現在、笠間市一般廃棄物処理基本計画に基づいて、ごみ処理体制の統一を目指しており、笠間市環境センターの老朽化に伴い、新たなごみ処理施設の整備を進めています。そこで、焼却ごみ（可燃ごみ）の現状と課題、生ごみの処理、水平リサイクル、プラスチックごみの処理等について質問しました。

内桶克之
一般質問動画

内桶克之反対討論

1. 笠間市と企業等との連携

問　連携協定等の状況は

答　政策推進監　平成30年度から今年度までの５年度間で、企業等とＩＣＴ活用によるまちづくりなどが９件、学校法人との文化交流都市づくりなどが２件、事業を絞って締結したもの17件があるほか、災害時支援やネーミングライツといった協定や契約等がある。

問　連携協定はどのような分野、事業が多いのか

答　政策推進監　数としては、災害支援などが多くなっている。包括連携については、地域の活性化や地方創生というものが大きな目的に掲げられており、その中で各種の事業を整理しながら進めている。

問　市内企業との連携は、どのような事業が多いのか

答　政策推進監　数としては災害支援、見守り協定が非常に多い。

問　連携協定後の事業状況は

答　政策推進監　代表的なものとして、令和２年１月に市と10機関で締結したスマートシティコンソーシアム協定は、来訪者や観光客を対象にしたデータ連携の基盤づくりなどから進めて、昨年度はプラットフォームの構築、シミュレーション等の研究を並行して進めている。また、ルネサンス社とは、スポーツコミッションの企画運営に対する人材派遣、デジタル田園都市モデル事業のオンラインフィットネス等の実験など、多岐にわたる取組を展開している。そのほかにも企業の強みと役割に応じて地域の課題解決の取組を進めている。

問　今までの連携協定の事業で、効果が現れた事業は

答　政策推進監　最初に設定した目的が非常に大きいので、成果としは話すのは難しいが、例えば平成28年度に締結したディップ社、ＮＴＴ社との移住促進に関わる連携協定で、様々な資源を移住にどうつなげるかの共同研究で、事業の募集定員が二十数名程度対して200を超える応募があり、ディップ社の顧客資源等を使って対象者を集める、もしくはＰＲをするといった結果が出ている。

問　連携協定事業の廃止、見直しは

答　政策推進監　連携協定後も事業を進めているケースが多く、随時協議の場を設けている企業が多い。見直しについては、例えばドローンを活用した地域課題解決の連携協定において、当初の課題である鳥獣被害に対する有効な解決策が見いだせず、別の生活課題の解決策の検討に切り替えるなど、適宜見直しを行いながら進めている。

日立製作所、日立システムズ、MONETとの連携
「働く市役所」運用実験

問　大学の連携は、常磐大学が平成19年に、その後淑徳大学、そして平成28年に日本体育大学と連携をしている。現在行っている事業の状況は

答　政策推進監　大学との連携は、淑徳大学、日体大、またミドルベリー大学と東京、千葉の大学なので、基本的に人の往来ができないので、現実的に人が動くような事業は実施していない。淑徳大学とは、引き続き教授等との連携、来年度新たなに地域創生学部が創設されることから笠間市をフィールドにした事業展開の協議をスタートした。常磐大学とは、非常に多岐にわたる形での連携を進めている。笠間市をフィールドにしたフィールドワーク研究、市のプロジェクトに対する参画など多様に連携事業を進めている。

2. 学校跡地利活用事業の状況

問　旧南小学校跡地（日本ウェルネス高等学校）の現状と課題

答　政策推進監　日本ウェルネス高等学校は令和４年４月１日に開校し、野球部などの部活動を行っている。公民館などを会場にした市民参加型の講座の開催、部活動における市内学校との連携・指導、各種イベント、スポーツの指導者育成会など、様々な場面での取組が展開されている。課題は次年度に向けた通信制で通う生徒の確保と合宿所等の整備。

秋の地区大会を勝ち抜き、県大会に
出場した日本ウェルネス高校野球部

問　旧東中跡地（茨城県民球団／茨城プラネッツ福祉センター）の現状と課題

答　政策推進監　現在、利活用の開始に向けた整備が進められ、一部供用が可能な段階だが、築34年の建物なので校舎の躯体や設備に大きな不具合が確認されていることが課題。スポーツジム、カフェ、栗関連施設等の整備や改修を順次進めている。県民球団選手のシーズンオフの就労や移住、車椅子ソフトボールなど、随時多方面での連携協議を行いながら進めている。

茨城アストロプラネッツのファン感謝祭
「復活！2022笠間東中学校大運動会」

旧東小学校　（株）メニコン
愛犬飼養代行施設「&HAUS」

問　旧東小跡地（メニコン）の現状と課題

答　政策推進監　現在、利活用の開始に向けた整備を進めている。校庭のドッグラン、愛犬の預かり等を行うためのドッグルーム等の整備を先行し、事務的手続も含めて進めている。市としても、地域との関係構築を含め、必要な支援や連携を深めていきたいと考えている。

3. 一般廃棄物の処理

問　焼却ごみの現状と課題

答　環境推進監　環境センターとエコフロンティアかさまで焼却処理している。令和３年度に搬入された総量は市全体で２万2197トン、１日当たり約91トン。課題は稼働開始から30年がたち、老朽化に伴い、年間約１億1000万円の修繕費の負担が深刻化していること。

問　生ごみ処理の現状と課題

答　環境推進監　搬入される可燃ごみのうち、生ごみが9.9％を占め、３番目に多い。生ごみには80％から90％の水分が含まれ、焼却時に多くのエネルギーを消費することから、市では生ごみの水切りの徹底を呼びかけ、今年度から生ごみ処理機器・容器の購入費補助制度を開始し、減量化に取り組んでいる。

生ごみを処理に最適なキエーロ
バクテリアの力で生ごみを土に変える

那珂市の方と丸棒活用でキエーロを制作
普及活動を検討中

■キエーロとは、神奈川県葉山市の個人の方が開発し、様々な行政で告知され、少しずつ認知が高まっている生ごみ処理器です。土壌に住む菌を利用して、生ゴミを分解するいわゆるコンポストです。木箱やプランターに屋根が付いており、通気性もよく、電気も不要で基材の交換も必要ないので、ランニングコストもなくとてもエコなコンポストと言えます。神奈川県内の自治体ではキエーロの普及に力を入れています。キエーロを販売する自治体、購入支援なども行われています。今後、キエーロ製作ワークショップやモニター募集などを検討し、普及活動に取組みたいと思います。

問　水平リサイクルの現状

答　環境推進監　市が今年度収集したペットボトルの量は８月末現在で約35トンで、500ミリリットルのペットボトル約175万本が水平リサイクルされた。

問　プラスチックごみの処理

答　環境推進監　令和４年４月施行のプラスチックに係る資源循環の促進に関わる法律では、市町村の責務として区域内のプラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び分別収集物の再商品化に必要な措置を講ずるよう努めることと規定されている。本市では、現在プラスチックを可燃ごみと収集、処理しているが、プラスチックの分別収集の導入は、分別区分の方法や再資源化の施設整備に係る費用、一般廃棄物のプラスチックを再資源化する中間処理事業者が県内で１社しか確認できないなど、収集後の受皿が不足していることなど、様々な課題を整理しながら検討を進める。

■笠間市でのごみ処理を今後どのようにするのか、それは可燃ゴミの種類や量によって、新しい焼却施設の整備内容も違ってきます。現状をしっかり把握するとともに、将来のごみ処理や人口減少社会に対応した、新しいごみ処理施設をしっかり検討してほしいと思います。